

研究成果に関する評価

1 国内外における水準との対比

遺伝子データベースを用いた同定法は世界的にその信頼性が確認されているが、これまでに蓄積されているデータベース（市販）は僅か1000株程度のデータベースであり、そのデータベースが極めて限られた種の微生物のものであることは明白である。しかもその微生物のほとんどが地上微生物であり、海洋微生物のものはほとんど含まれていないことが明らかとなった。本プロジェクトの海洋微生物のデータベースがある一定の大きさを持てば、現在の遺伝子データベースはその使用料金は極めて高額であり（500万円/登録・使用量）、海洋微生物データベースの構築が極めて高い付加価値をもたらすことは明らかである。

残された課題と対応方針について

中間評価後中止。

	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	小計	H13	H14	H15	H16	H17	H18	小計	
人件費	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	0	0
設備費	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	0	0
その他研究費 (消耗品費、材料費等)	2,575	6,577	3,420	-	-	-	12,572	0	0	0	-	-	-	0	12,572
旅費	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	0	0
その他	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	0	0
小計	2,575	6,577	3,420	-	-	-	12,572	0	0	0	-	-	-	0	12,572

代表的な設備名と仕様(既存(事業開始前)の設備含む)

JST負担による設備:

地域負担による設備:

複数の研究課題に共通した経費については按分する